CentOS

CentOS は Red Hat Enterprise Linux 互換の OS です。Red Hat 社の公開するソースコードから Red Hat 社の商標や商用のソフトウェアを除いてあります。CentOS 3 は Red Hat Enterprise Linux 3 に相当し、CentOS 3.9 は Red Hat Enterprise Linux 3 Update 9 に相当します。

Red Hat Enterprise Linux と Red Hat Linux または Fedora(Core) の対応は、

RHEL	RHL または FC(Fedora)
RHL 6.2E	RHL 6.2
RHEL 2.1	RHL 7.2
RHEL 3	RHL 9
RHEL 4	FC 3
RHEL 5	FC 6
RHEL 6	Fedora 12 / 13
RHEL 7	Fedora 19 / 20
RHEL 8	Fedora 28
RHEL 9	Fedora 34

となっています。

■参考

- Fedora/CentOS Stream/CentOS/RHEL の関係性 - 赤帽エンジニアブログ
- www.centos.org - The Community ENTerprise Operating System
- Download CentOS 3 ISOs(ミラー) → http://ftp.iij.ad.jp/pub/linux/centos-vault/3.9/isos/i386/
- CentOS-FAQ/3.x - Linux FAQ for Desktop
- CentOS で構築する自宅サーバ
- Rocky Linux - Wikipedia

インストール

CentOS のサイトから ISO イメージをダウンロードする。ブータブルになっているので BIOS で CD 起動が有効になっていればそのままインストーラが起動する。なんてね。

プロキシの設定

■参考

- とりあたまさんのおぼえがき : CentOS：proxy を使用する環境での設定

Java のインストール

(2009.2.5 追記)1.4.2 は賞味期限が切れました。

java-1.4.2-sun-1.4.2.17-1jpp.nosrc.rpm が最新のようです。jdk は 1.4.2.19 が最新。

サン・マイクロシステムズ社の SDK は、

http://java.sun.com/j2se/1.4.2/ja/download.html

からダウンロードできます。

「J2SE SDK のダウンロード」をクリックすると一覧が出ますので linux 版をダウンロードします。ここからは英語のページになります。

上の方にある、「Accept License Agreement　|　Review License Agreement」のラジオボタンをクリックします。これをしないとダウンロードできません。

「j2sdk-1_4_2_16-linux-i586.bin」をダウンロードします。「self-extractingfile」をクリックするとダウンロードが始まります。

ただし、EL 用の rpm ではありませんので、上でダウンロードしたファイルから rpm のパッケージを作成します。

http://www.jpackage.org/browser/rpm.php?jppversion=1.7&id=7851

(2009.12.28 修正)

http://www.jpackage.org/browser/rpm.php?jppversion=1.7&id=8469

から、

java-1.4.2-sun-1.4.2.16-1jpp.nosrc.rpm

というパッケージを入手します。

rpm -ivh java-1.4.2-sun-1.4.2.16-1jpp.nosrc.rpm

でインストールします。これは、jvm やコンパイラをインストールするものではありません。

先ほどの「j2sdk-1_4_2_16-linux-i586.bin」から EL 用の rpm パッケージを作成します。

「j2sdk-1_4_2_16-linux-i586.bin」を「/usr/src/redhat/SOURCES/」に置きます。次に、

rpmbuild -bb /usr/src/redhat/SPECS/java-1.4.2-sun.spec

で rpm が出来ます。

```
書き込み中： /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中： /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-devel-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中： /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-src-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中： /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-demo-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中： /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-plugin-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
```

```
書き込み中： /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-fonts-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中： /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-alsa-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中： /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-jdbc-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
```

というような、メッセージが出ているはずです。後は、これらの rpm ファイルを使って jvm とコンパイラをインストールします。

rpm -ivh /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm

rpm -ivh /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-devel-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm

rpm -ivh /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-fonts-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm

多分この 3 つで大丈夫だと思います。

Samba のインストール

Samba は CentOS 3.9 に標準であります。

rpm -qa | grep samba

で、インストール済みかどうかを確認します。インストールされていない場合は yum でインストールします。(2009.2.5 追記) この下にある「yum のアップデート」を参考にしてください。

最新は、3.0.28a です。下の URL から、ダウンロードできます。

(2008.5.30 追記) 最新は 3.0.30 になっています。

(2009.2.5 追記) 最新は 3.2.8 になっています。

(2009.4.21 追記) 最新は samba3-3.2.11-38.el3.i386.rpm になっています。

(2009.8.25 追記) 最新は samba3-3.3.7-39.el3.i386.rpm になっています。

(2009.12.28 追記) 最新は samba3-3.3.9-40.el3.i386.rpm になっています。

(2010.2.9 追記) 最新は samba3-3.3.10-40.el3.i386.rpm になっています。

(2010.2.24 追記) 最新は samba3-3.4.5-42.el3.i386.rpm になっています。

http://ftp.sernet.de/pub/samba/3.4/centos/3/

から

http://ftp.sernet.de/pub/samba/3.4/centos/3/sernet-samba.repo

をダウンロードして、/etc/yum.repos.d/ に保存します。

```
yum remove samba
yum install samba3
service smb start
```

あとは必要に応じて、

```
yum install samba3-utils
yum install samba3-doc
```

samba3-doc でパッケージが足りないといわれるが、

http://dries.eu/yumconfig

から、

http://dries.eu/pub/dries-el.repo

をダウンロードして、/etc/yum.repos.d/ に保存します。

■参考

- Samba 3.2 の設定 : Netsphere Laboratories
- Samba のインストール

cpan2rpm のインストール

samba3-doc では Jcode が要求されます。cpan2rpm を使うと簡単にインストールできます。

```
yum --enablerepo=atrpms install cpan2rpm
cpan2rpm Jcode
```

最初の実行時にいろいろ聞かれますが適当に答えてください。出来上がったパッケージをインストールします。

```
rpm -ivh /usr/src/redhat/RPMS/i386/perl-Jcode-2.07-1.i386.rpm
```

```
yum install samba3-doc
```

これでめでたく samba3-doc がインストールできました。

- CentOS で構築する自宅サーバ : cpan2rpm の導入

swat の設定

/etc/xinet.d/samba

が swat の設定ファイルです。

```
chkconfig samba on
service xinetd restart
```

で自動起動に設定されます。

■参考

・Samba サーバ構築、5 つのべからず：2008 年版 - kinneko@ 転職先募集中の日記

(2009.2.5 追記) 上で紹介されているページの賞味期限が切れていることに注意してください。

yum のアップデート

CentOS の Plus パッケージを有効にしてアップデート

/etc/yum.conf

```
#additional packages that extend functionality of existing packages
[centosplus]
name=CentOS-$releasevei - Plus
baseurl=http://ftp.riken.jp/Linux/centos/$releasever/centosplus/$basearch/
gpgcheck=1
```

コメントをはずす。

```
# yum update
```

～

```
[update: yum 2.4.3-4.centos3.noarch]
```

～

yum が 2.0.8 から 2.4.3 にアップデートされるはずです。

(2009.2.5 追記)yum を使うには以下のコマンドを実行してください。

```
rpm --import http://mirror.centos.org/centos/RPM-GPG-KEY-CentOS-3
```

Subversion のインストール

http://summersoft.fay.ar.us/pub/subversion/1.4.6/rhel-3/i386/ から RHEL3 のパッケージをダウンロードします。2008.5.19 現在のリストです。

(2009.2.5 追記)URL が http://summersoft.fay.ar.us/pub/subversion/1.4.6/rhel3/i386/ に変わっています。下のリストも古くなっています。

(2009.4.21 追記)http://summersoft.fay.ar.us/pub/subversion/1.5.5/rhel3/i386/

```
[ ]  cvs2svn-1.2.1-1.noarch.rpm  14-Jun-2005 17:16   103K
[ ]  httpd-2.0.46-70.1.ent.i386.rpm  16-Mar-2008 15:56   1.0M
[ ]  httpd-debuginfo-2.0.46-70.1.ent.i386.rpm  16-Mar-2008 15:56   2.5M
[ ]  httpd-devel-2.0.46-70.1.ent.i386.rpm  16-Mar-2008 15:56   384K
[ ]  mod_dav_svn-1.4.6-1.i386.rpm  16-Mar-2008 15:55   72K
```

```
[ ]  mod_ssl-2.0.46-70.1.ent.i386.rpm  16-Mar-2008 15:56   109K
[ ]  neon-0.24.7-1.i386.rpm  07-Jul-2004 20:13   53K
[ ]  neon-debuginfo-0.24.7-1.i386.rpm  07-Jul-2004 20:13   186K
[ ]  neon-devel-0.24.7-1.i386.rpm  07-Jul-2004 20:13   217K
[ ]  subversion-1.4.6-1.i386.rpm  16-Mar-2008 15:55   1.4M
[ ]  subversion-debuginfo-1.4.6-1.i386.rpm  16-Mar-2008 15:55   3.4M
[ ]  subversion-devel-1.4.6-1.i386.rpm  16-Mar-2008 15:55   1.4M
[ ]  subversion-perl-1.4.6-1.i386.rpm  16-Mar-2008 15:55   730K
[ ]  subversion-python-1.4.6-1.i386.rpm  16-Mar-2008 15:55   928K
[ ]  subversion-tools-1.4.6-1.i386.rpm  16-Mar-2008 15:55   189K
[ ]  swig-1.3.25-1.i386.rpm  02-Jan-2006 19:01   2.4M
[ ]  swig-debuginfo-1.3.25-1.i386.rpm  02-Jan-2006 19:01   677K
[ ]  wxGTK-2.4.2-1.i386.rpm  27-Feb-2004 08:20   2.4M
[ ]  wxGTK-devel-2.4.2-1.i386.rpm  27-Feb-2004 08:20   564K
[ ]  wxGTK-gl-2.4.2-1.i386.rpm  27-Feb-2004 08:20   25K
[ ]  wxGTK-static-2.4.2-1.i386.rpm  27-Feb-2004 08:20   2.2M
```

■参考

・Subversion サーバ構築 - IT 技術の雑記帳

(2009.12.28 追加)

・CentOS 3.9 に Subversion 1.5.5 を入れた | tanablog

CVS のインストール

CVS は CentOS 3.9 に標準であります。インストールされているかは、

```
# rpm -qa | grep cvs
```

で確認してください。インストールするには yum を使います。

アンチウイルスソフトのインストール

・アンチウィルスソフト導入 (Clam AntiVirus) - CentOS で自宅サーバー構築

Webmin のインストール

Webmin ユーザグループ - WEBMIN.COM　日本語公式サイトからパッケージをダウンロードする。

```
rpm -ivh webmin-1.400-1.noarch.rpm
```

(2009.2.5 追記) バージョンアップされています。

http://prdownloads.sourceforge.net/webadmin/webmin-1.430-1.noarch.rpm

(2009.4.21 追記) バージョンアップされています。

http://prdownloads.sourceforge.net/webadmin/webmin-1.470-1.noarch.rpm

(2009.8.25 追記) バージョンアップされています。

http://prdownloads.sourceforge.net/webadmin/webmin-1.480-1.noarch.rpm

(2009.12.28 追記) バージョンアップされています。

http://prdownloads.sourceforge.net/webadmin/webmin-1.500-1.noarch.rpm

webmin のアクセス

ブラウザから、http:// サーバ :10000/ でアクセスする。

Virtualmin のインストール

・Webmin

(2009.8.25 追記)

wget http://download.webmin.com/download/virtualmin/virtual-server-3.73.gpl.wbm.gz

wget http://download.webmin.com/download/virtualmin/wbt-virtual-server-theme-7.4-1.noarch.rpm

(2009.10.23 追記)Subversion のプラグインの 4.0 は 3.70 以降にしか対応しない。3.70 も CentOS の 3.9 には未対応の様。

(2009.11.12 追記)webmin 関係の古いファイルは以下から入手できる様。

・Index of /gpl/wbm

■参考

・usermin と virtualmin のインストール - ぬきすぽラボ

Webmin で Subversion を管理する

・RoR Wiki 翻訳 Wiki - TxD/Subversion(google キャッシュ)

(2009.2.5 追記)google キャッシュでは見つからなくなりました。

RoR Wiki 翻訳 Wiki - TxD/Subversion(internet Archive)